

《全国初、池田発の地域分権》

“自分たちのまちは、自分たちでつくる”

まちを守る様々な活動



新年明けましておめでとうございます。地域住民のみなさんはお正月をいかがお迎えでしたか。いよいよ正念場でもある年。地域分権の提案事業活動が推進する活気、気力、元気ある一年となるようお祈り申し上げます。この制度が施行され3年の経過があり、提案事業の事業設置も数多く定着し、地域住民の安心、安全なまちづくりの成果、評価があります。更に予算提案事業ありきの事業でなく付帯事業要請(平成19年度)地域住民の多様な分野の人々が連携する課題、阪急電鉄(株)の石橋駅西口のアーケードの設置が完成(11月末)したことであります。

平成22年度(平成21年度予算提案事業) 実施状況当協議会の総金額 (7,092千円)



石橋周辺地下道美化事業

(1,500千円)

落書きやポスター等により美観が損なわれている市道石橋15号線、阪急電車ガード下付近の美化を行う。通行者の快適性向上とまちの活性化を促進する。



阪急電車ガード下付近の美化

地域掲示板設置事業

(582千円)

地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く住民に周知して、情報の共有化をはかる。



阪急電車ガード下付近設置

道路安全対策事業

(2,700千円)

旧西国街道にグリーンベルト歩行帯を設けることにより、歩行者、運転者の安全意識の向上を図る。



旧西国街道舗装

避難場所等案内掲示板設置事業

(1,580千円)

災害時における冷静な対応をはかるため避難場所等までの経路を掲示する。また、地域住民の日頃の危機管理意識を高める。



地域公園内に設置

防犯カメラ管理事業

(480千円)

校区に設置した防犯カメラの維持管理を行い、犯罪の未然防止並びにこどもの安全確保を図る。



石橋南地域コミュニティ紙発行事業

(250千円)

地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民に周知して、情報の共有化を図る。



石橋駅西口の改札前にアーケードが完成

ひとくち
メモ



アーケードが完成

永年の地域商店街からの要望もあり、今回の地域分権制度を活用して提案事業に付帯要請(書)について地域分権制定の初年度に提出した「阪急電鉄(株)石橋駅西口改札口前のアーケードの設置」は、地域住民が雨、風、傘等で足場が歩行の危険と安全対策上また、特に阪急電車の乗降利用者増大による利便性等から悲願の設置要請であります。その要請により行政も起爆剤として真摯に認識し、建設的な取り組みと阪急電鉄(株)と積極的に断固たる折衝を積み、阪急電鉄(株)も要請に誠意を提示された。関係団体及び地域住民力の協働に価する事業展開で解決し、反映することができ設置完成に到りました。石橋南地域コミュニティ推進協議会として活気的な成果であります。



みんなで作る将来(夢)のまちづくりのイメージとしてのタイトルは

「地域の人が共生し、みんなで作る安心・安全・きれいなまち 石橋南」